

八雲町年表

日本海と太平洋にまたがる500年の歴史

1529(享禄 2)年	(熊石地域)	雲石の変 (奇岩雲石伝説)
1606(慶長 11)年	(熊石地域)	根崎神社創立
1666(寛文 6)年	(熊石地域)	円空、熊石に滞在して根崎神社、北山神社のご神体を刻む
1678(延宝 6)年	(熊石地域)	柏巖和尚、熊石門昌庵で斬首(門昌庵事件)
1691(元禄 4)年	(熊石地域)	相沼内番所、熊石に移る
1721(享保 6)年	(熊石地域)	法蔵寺前に山海漁獵供養塔建立
1772(安永元)年	(八雲地域)	遊楽部鉾山で山崩れのため死者多数。
1773(安永 2)年	(八雲地域)	山越内に会所を設置
1780(安永 9)年	(熊石地域)	木喰上人、宝蔵寺地藏菩薩像を完成
1800(寛政12)年	(八雲地域)	幕府山越内を「華夷の境」と定む。翌年山越内関門設置
1858(嘉永 5)年	(八雲地域)	山越内場所「村方並」となる
1859(安政 6)年	(熊石地域)	この年、相沼奴できる
1861(文久 元)年	(八雲地域)	山越内の関門を廃して自由通行許可
1868(明治元)年	(熊石地域)	榎本軍によって松前城落城、藩主徳広、関内から津軽に落ちのびる
1873(明治 6)年	(熊石地域)	海産税に反発し、檜山管内の漁民騒動(檜山騒動)
	(熊石地域)	熊石、泊川、相沼に戸長役場が設置される
1877(明治10)年	(熊石地域)	熊石戸長役場できる
1878(明治 11)年	(熊石地域)	雲石・相沼内・泊川、各小学校開校
	(八雲地域)	徳川慶勝、遊楽部官有原野150万坪の無償払い下げを受ける。
1879(明治12)年	(八雲地域)	八雲学校設立
1880(明治13)年	(八雲地域)	開墾試験場で函館支庁の委嘱を受けて、鮭魚天然孵化事業試験開始
1881(明治 14)年	(八雲地域)	遊楽部・黒岩の2支郷を八雲村と称し「山越内村外一か村戸長役場」設置
1884(明治17)年	(八雲地域)	八雲神社神殿落成
1886(明治19)年	(熊石地域)	相沼内村、泊川、熊石戸長役場と合併
1889(明治22)年	(八雲地域)	「徳川家郷約」を發布、徳川農場、植民制度を廃止、小作制度に改正
1902(明治27)年	(八雲地域)	八雲村と山越内村の2村が合併し、2級町村制施行を行い、八雲村とする
1897(明治30)年	(八雲地域)	川口良昌「川口式デンプン製造法」発明
1894(明治35)年	(熊石地域)	二級町村制施行、熊石村になる。この頃からニシン漁が衰退する。
1903(明治36)年	(八雲地域)	鉄道開通、管内4駅野田追・山越内・八雲・黒岩開駅
1905(明治38)年	(八雲地域)	八雲片栗粉同業組合設立
1907(明治40)年	(八雲地域)	1級町村制を施行する。
1912(明治45)年	(八雲地域)	徳川家開墾地は徳川農場と改め、会所を廃して事務所設置
1913(大正 2)年	(熊石地域)	ニシン最後の大漁
1915(大正 4)年	(八雲地域)	落部村二級町村制施行
1916(大正 5)年	(八雲地域)	一次世界大戦で農産物価格暴騰
1919(大正 8)年	(八雲地域)	八雲町制施行

1920(大正 9)年	(八雲地域)	八雲電気株式会社、砂蘭部川上流に発電所開設
1922(大正11)年	(熊石地域)	八熊道路完成
	(八雲地域)	北海道煉乳株式会社、牛乳の受け入れを開始
1930(昭和 5)年	(熊石地域)	相沼内発電所完成
	(八雲地域)	木彫り熊、日本土産品として帝国工芸会長推奨
1933(昭和 8)年	(八雲地域)	八雲熊石自動車合資会社成立
		八雲一熊石間のバス運行
	(熊石地域)	熊石船入洞完成
1937(昭和12)年	(八雲地域)	北海道鮭鱒ふ化場渡島支場が設置される
1939(昭和14)年	(八雲地域)	酪農振起20周年記念として乳牛感謝の碑建立
1943(昭和18)年	(八雲地域)	八雲陸軍飛行場完成
1947(昭和22)年	(熊石地域)	相沼大火(146戸全焼)
1953(昭和28)年	(熊石地域)	国民健康保険組合直営診療所開院
	(八雲地域)	八雲漁港起工式を行う
1956(昭和31)年	(八雲地域)	集約酪農地域に農林省から指定される
1957(昭和32)年	(八雲地域)	落部村合併
1959(昭和34)年	(熊石地域)	三漁協合併し、熊石漁業協同組合となる
1960(昭和35)年	(熊石地域)	人口がピークを迎える(1万49人)
1962(昭和37)年	(熊石地域)	熊石町制施行
1964(昭和39)年	(八雲地域)	乳牛育成牧場造成工事はじまる
1966(昭和41)年	(熊石地域)	鮎川洞窟遺跡の発見
1967(昭和42)年	(八雲地域)	八雲町、総合経営部門で自治大臣賞を受賞
1972(昭和47)年	(熊石地域)	国民宿舎ひらたない荘営業開始
	(八雲地域)	広域農道「ミルクロード」起工
1974(昭和49)年	(熊石地域)	運輸省指定青少年旅行村完成
1975(昭和50)年	(八雲地域)	町営八雲温泉落成
1978(昭和53)年	(八雲地域)	八雲町100年記念式典・郷土資料館開館
1979(昭和54)年	(熊石地域)	八熊線全線舗装化
1982(昭和57)年	(熊石地域)	アワビ中間育成始まる
1983(昭和58)年	(熊石地域)	道立水産ふ化場熊石支場完成
1987(昭和62)年	(熊石地域)	歴史記念館開館
1990(平成 2)年	(熊石地域)	防災行政無線放送開始
1991(平成 3)年	(八雲地域)	国道5号の改修終わる(4車線化)
1993(平成 5)年	(八雲地域)	八雲町の地域CIが「自然美術館・八雲」に決まる
1995(平成 7)年	(熊石地域)	第1回あわびの里フェスティバル
1997(平成 9)年	(八雲地域)	シルバープラザ、ファームメイド遊楽部館開設
1995(平成10)年	(八雲地域)	八雲山車行列、国土庁長官賞を受賞
2003(平成15)年	(熊石地域)	海洋深層水供給施設、総合交流施設開設
2005(平成17)年	(八雲地域)	山越郡八雲町と爾志郡熊石町が新設合併し、二海郡八雲町となる。
2006(平成18)年	(八雲地域)	道立公園 噴火湾パノラマパーク開園 北海道縦貫自動車道八雲IC完成